



関中学校だより

第6号 平成29年12月22日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

コミュニケーションの大切さ

校長 勝亦章行

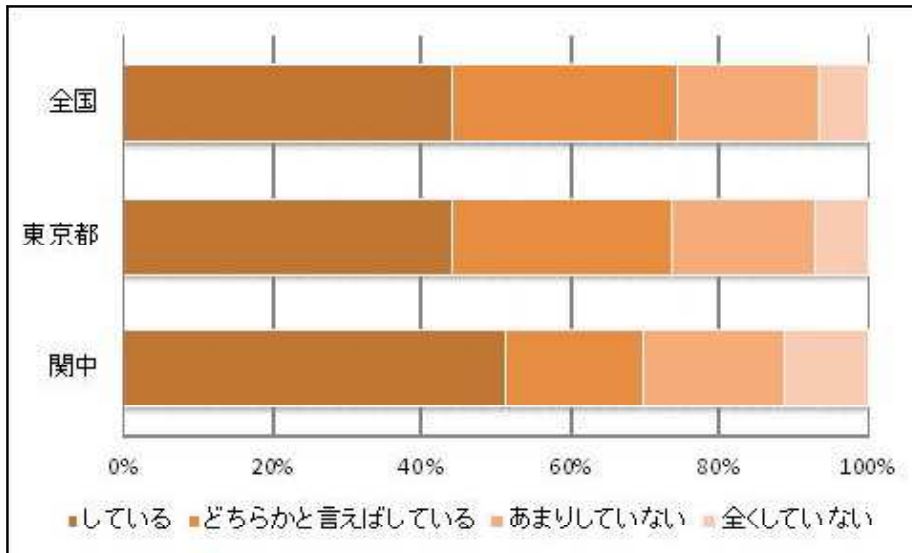
平成29年も残り少なくなりました。さて、平成29年度の全国学力・学習状況調査は、年度当初の4月に行われました。

中学校では、全国の3年生が対象でした。その中で、生徒の生活状況の設問があり、その一つに次の設問がありました。

質問 26 番 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか？

「している」	関中	51.3 %	全国	44.0 %
「どちらかと言えば、している」	関中	18.6 %	全国	30.3 %
「あまりしていない」	関中	18.6 %	全国	19.1 %
「全くしていない」	関中	11.5 %	全国	6.5 %

「家の人と学校での出来事について話をしている」という設問で、「している」と「どちらかと言えばしている」の肯定的回答は、全国、東京都でほぼ74%です。関中では、70%でした。ただし、「している」は、関中は51%とかなり高いです。このことをどのように考えればよいのでしょうか。「塾」、「部活動」、「家庭学習」、「ゲーム」、「携帯電話やスマホの通話やメール、インターネット」などの時間が多く、ゆっくりと家の人と話す時間がとれないという状況があるかもしれません。しかし、生徒一人一人の家庭の状況が異なることから、理由は、様々あると思います。「全くしていない」が、関中は11%います。これは3年生の1割になります。少し気になる数値です。



さて、このことは、「コミュニケーションの問題」と考えます。人間社会において、コミュニケーションは不可欠です。コミュニケーションは、人間関係を深める最良の手段。言語を持っている人間において、他の動物以上に自分が考えていること、相手が考えていることを、言葉を通して相互に伝え、理解することができます。人間関係の希薄化が言われて久しい社会状況の中、コミュニケーションは、これからの社会人に大事な資質・能力です。都立高校推薦入試の集団討論の選考は、こうした力をみているかもしれません。

時間がないかもしれませんが、家庭で学校の出来事を家族の中で話することを少しでも増やしてみてもいいのではないでしょうか。

今年中は、お世話になりました。佳い年をお迎え下さい。

12月・1月 行事予定

日	曜	予定
1	金	石台小6年生来校
2	土	中P連主催「駅伝大会」
4	月	全校三者面談始
5	火	心の相談員来校
7	木	SC来校
9	土	第二土曜授業、全校道徳、ボロ市
10	日	ボロ市
11	月	全校三者面談終
12	火	生徒総会、心の相談員来校
13	水	1年女子ダンス発表会、避難訓練、生徒会生徒委員会
14	木	SC来校、生徒会中央委員会
15	金	心の相談員来校、3年私立入試相談
18	月	生徒会朝礼
19	火	学校評議委員会、心の相談員来校
22	金	大掃除、心の相談員来校
23	土	天皇誕生日(祭日)
25	月	終業式、成績相談
26	火	成績相談、生徒会長サミット
31	日	大晦日
1月		
1	月	平成30年、西暦2018年 元旦
4	木	仕事始め、床清掃
5	金	成績一覧表調査委員会、床清掃
8	月	成人の日(祭日)
9	火	3学期始業式、職員会議
11	木	SC来校
12	金	心の相談員来校
13	土	第二土曜授業日、オリパラ講演会、区生徒作品展始、2年スキー教室保護者会
15	月	3年私立高推薦入試出願
16	火	心の相談員来校
17	水	区生徒作品展終
18	木	漢字検定
19	金	英語検定
23	火	区連合ダンス発表会
25	木	3年私立校出願
27	土	区書写展
28	日	区書写展

1964年東京オリンピック 女子バレーボール金メダリスト 千葉先生の講演会

(11月24日 金曜日)



講演をする千葉勝美先生

「オリンピック・パラリンピック教育」講演会
11月24日(金)
講師 千葉 勝美 様
＜バレーボール元全日本代表選手＞
つなぐ・「東京」から「TOKYO」へ、そして関中から

(略歴)
市立龍華中学校⇒四天王寺高校⇒二千ポ一貝塚(1962年～1972年)

東京オリンピック1964年 金メダル
日本代表選手として ドイツ・ミュンヘンオリンピック1972年 銀メダル
世界選手権3回⇒金メダル2回・銀メダル1回受賞

つなぐ「東京」から「TOKYO」へ



講演会の様子(関中体育館にて)



実技指導を受ける関中女子バレーボール部



今回の講演会は、オリンピック・パラリンピック教育の一環として実施しました。ご存じの通り、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。そこで、東京都教育委員会は、都内全ての公立小学校・公立中学校・都立高等学校で、昨年度から4年間、オリンピック・パラリンピック教育を推進することにしました。

オリンピック・パラリンピックは、とりわけ若者や子どもたちを鼓舞し、勇気と感動を与えます。オリンピズム精神は、学校教育にも通ずるものと東京都教育委員会は考えました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を子ども達にとってまたとない重要な機会と捉えています。

今回関中では、1964年東京オリンピックで、女子バレーボールで優勝したチームの一員(金メダリスト)であった千葉勝美(旧姓 松村勝美)に講演と、関中女子バレーボール部への実技指導をしていただきました。また、和田豊子(旧姓 岩原豊子、ミュンヘンオリンピック、メキシコオリンピック出場メダリスト)、現役のバレーボール選手2人(大学生)にもお手伝いいただきました。

講演会は、バスケットゴールのワイヤー破断修理が終わっていなかったため、全面使用ができず、二回講演の形で行われました。前半は、1・2年生対象、後半は、3年生対象でした。

千葉先生からは、バレーボールを始めたきっかけ、名匠大松監督と生み出した「大松式回転レシーブ」、世界一になるまでの「努力」「根性」について、熱く語っていただきました。

生徒の感想

とても印象に残ったのは、講演です。その中で、「努力とは口先の言葉ではなく、日々休まずに続けることを言う」という言葉が、とても心に残っています。この言葉には、金メダルをとるまでの辛い練習を乗り切った人が言うからこそ訴えるものがあると考えました。試合で258連勝をすることができたとのこと。素晴らしい人だと思います。

千葉先生の話聞いて、夢は言葉にすれば必ず叶うとよく聞きますが、これが本当なんだなと思いました。大きな夢をもっていて、もう無理かもと思って、あきらめなければ必ず叶うんだと、今日思いました。あきらめないためには、努力が大切であると。実技指導では、迫力ある大学生の動きに驚きました。パスをし合っているとき、とてもボールは軽く見えました。オリンピックの金メダルを始めて見ました。遠くから見ても、ピカピカ輝いていて、これを取ったら、すごく嬉しいと思いました。

千葉先生の講演の様々な言葉が、自分の心に突き刺さりました。私も校外でスポーツをやっているのですが、「努力」や「根性」は、とても大事なことだと思ったからです。私は、あまり努力できていないので、先生は「止めず、休まず、続けましょう」とおっしゃった時には、特に、グサッときました。そして努力をしないで何かを成し遂げることは、決してできないと思ったので、これから目指すものを決めて、頑張ります。

石神井台小学校6年生が来校しました (12月1日 金曜日)



毎年実施されていますが、石神井台小学校の6年生(84人)が来校しました。これは、小中一貫教育の一つの活動として実施しているものです。

生徒会役員が、学校紹介をしました。内容は、「授業」「行事」「部活動」「生徒会活動」等について説明をしました。その後、三つのグループに分かれて、授業見学・校舎巡りを行いました。

一つのグループの順序は、

1年E～A組	2年E～A組	美術室
	理科室	木工室、校庭、体育館

その後多目的室に集合して、質疑応答を受けました。

石神井台小の6年生に説明をしているところ

第16回PTA連合協議会主催「中学校駅伝大会」(12月2日 土曜日)

恒例の中学校PTA連合会主催の中学校駅伝大会が、大変よい天気の中、都立光が丘公園で行われました。

昨年度は、関中は前年ながら出場することができなかったのですが、今年度は、男女とも2チームが出場しました。

チーム関中として頑張り、男子Aチームが9位。男子Bチームが30位。女子Aチームが38位、女子Bチームが40位の結果でした。



男子駅伝のスタート直後の様子。「55」「56」が関中です。

男子Aチームの上坂君が、第3区区間賞(1位)、下山田君は、第1区区間賞(3位)を取りました。関中チームは、駅伝当日まで、黒田監督(副校長)指導のもとに練習を重ね、新たに黄色地に黒刺繍で「関中」と描いた八チマキを作り、臨みました。関中代表として、出場した生徒は全員完走しました。



女子駅伝スタート直後の様子



第3区区間賞1位の上坂君の走り



関中男子Bチームも頑張りました



駅伝大会終了後に、記念撮影（パチリ！）

今年度の総合優勝校は、開進第四中学校でした。開進第四中学校は、男子優勝、女子優勝、男子個人走優勝、女子個人走優勝の完全優勝でした。

関のボロ市 本校PTAOB会「つばさの会」が出店（12月9日 土曜日・10日 日曜日）



関のボロ市



本立寺



関中つばさの会の出店

本校PTAのOB会であるつばさの会が、関のボロ市で今年も出店しました。このボロ市に合わせて毎年出店しています。

事前準備から本校PTAの方も協力していただきました。また、本校PTAの生活委員会ではパトロールをしてもらいました。ありがとうございました。多くの教員もこのパトロールに参加しました。

関のボロ市は、江戸時代から続いています。本立寺で日蓮宗の宗祖の命日に営まれる「お会式（おえしき）」に合わせて、毎年12月9日と10日に行われています。寺の門前には、賑やかな市がたち、「年の市」、「暮れの市」、「お会式の市」とも呼ばれています。江戸時代には、ぼろ布や農機具、正月用品などが売られ、近くの農家の方かたが生活必需品などを購入していたと言われていました。
（練馬区ホームページより引用）

落葉清掃（11月21日～30日）



紅葉した中庭の櫓



北風とともに落葉した櫓の葉・・・



整備委員会による落葉清掃の様子

今年の落葉清掃は、1年生は学級単位で実施し、最後の11月30日は、2・3年生の整備委員が行いました。さらに日々の落葉清掃は、民間用務業務を依頼している武翔さんが行ってくれますが、12月18日（月）には、PTAグリーンボランティアが、校庭の落葉清掃をやって下さいました。ありがとうございました。

全校道徳「命を大切にする授業」(12月9日 土曜日)



「命の大切さを学ぶ教室」講演会の様子(体育館)



ご主人を交通事故でなくされた鷲尾先生

関中では、12月4日～10日の人権週間の時期に、毎年、全校道徳を行っています。今年度の全校道徳は、「命の大切さを学ぶ教室」として、公益社団法人被害者支援都民センター相談員である鷲尾洋子先生から、講演を受けました。

この「命の大切さを学ぶ教室」は、警視庁が主催しているもので、犯罪被害に遭った家族の思いや命の大切さを、考えてもらうため、中学生、高校生を対象に実施しているものです。

鷲尾洋子先生のご主人は、警察官でした。しかし、平成7年10月に交通事故で亡くなりました。遺族の方です。ご主人、鷲尾先生、お子さん(当時中学3年生)で車に乗って走行中に、反対車線の車がいきなり中央ガードレールを乗り越えて正面衝突。相手の居眠り運転が原因でした。ご主人は、即死。鷲尾先生は、大きなケガをされましたが、何とか助かりました。お子さんも助かりました。鷲尾先生からは、当たり前前の生活が当たり前ではないこと。大切な人がいきなり亡くなったとき、人は感情麻痺(涙も出ず、事実を事実として受け止められない精神状態)の状態になる。その中でも、生きていかなければならない。

命の大切さ、命の尊さ、かけがいのない命を尊重することを、鷲尾洋子先生の講演から、学びました。

生徒の感想

今日の鷲尾先生の話聞いて「自分のことを好きになる」ということの大切さを学びました。命を大切に生きるということは、自分を大切にすることだと知り、私は、今まで何も考えずに生きていたように思えました。私は、自分のことを好きといえるかと聞かれたら、好きとは言えないので、これからは、鷲尾先生の話されていたことを意識し、自分のいいところ、好きなところを見付けるようにしたいです。他にも私は、「自分の意見は自分で伝える」ということも大事だと思いました。字でも絵でもいいので、自分で伝えることは大切だという話は、とても納得できました。私は、これからのことを踏まえて、何も無いような日常でも大切に、自分自身のことを理解し、伝えられるような人になりたいです。

「当たり前が、当たり前じゃなくなる」というのは、あまり考えたことがありませんでした。今日の話聞いて、いきなり訪れる「交通事故」や「病氣」。まだやりたいとことがあったり、精一杯生きていなかったりして、亡くなる人も少なくないと思いました。実際鷲尾先生も夫や仲の良かった友人が亡くなっているということなので、私たちの周りには、死というものが、わりと身近にあるものなのではないかと思いました。

私は命は尊いものと、何度も聞いたことがあります。でも鷲尾先生の話は、実体験を話されていたので、本当に大切なものだと感じました。特に人間は、あまりにもありえないことが起きると、涙も出ずに冷静であるということに驚きました。私は、逆にパニックになって感情的になってしまうと思っていました。交通事故は、誰でも起きる可能性があり、私にも起こるかもしれないので、気を付けたいと思いました。気を付けていても誰かが亡くなったり、生かされたり、そのようなことがあるからこそ、今ある命を大切にしたいです。そして、過去や未来のことではなく、今を大切に考えていきたいです。

税の作文の入賞者紹介

税の作文コンクール

練馬西納税貯蓄組合連合会優秀賞
練馬西納税貯蓄組合連合会優秀賞
練馬西納税貯蓄組合連合会優秀賞
練馬西納税貯蓄組合連合会優秀賞

及川
柏木
栗山
武井

後期生徒総会（12月12日 火曜日）



活発な質疑応答があった生徒総会



生徒会長の挨拶（スローガンは、共に信頼 友に協力）



各委員会から提案された案に採決しているところ



各学級から事前に選ばれた質問者

後期になり、新生徒会役員、新生徒会各種委員となり、本校体育館で後期生徒総会が開催されました。この総会で、生徒会役員会、各種委員会の方針・活動内容が提案され、採択の結果、承認されました。

生徒会のスローガンは、「共に信頼 友に協力」です。

生徒会役員会の重点目標としては、次の通りです。

(1) あいさつ運動	「自然な挨拶あふれる関中へ」
(2) 募金活動	「思いやりのある関中へ」
(3) 情報の発信	「身近にある生徒会へ」(生徒会誌Dreamの充実)
(4) ボランティア活動の活性化	「関中エコライフへ」
(5) 意見箱の活性化	「意見が飛び交う関中へ」

各委員会のスローガンと関中活性化のためのキャンペーンは、次の通りです。

委員会名	スローガン	関中活性化のためのキャンペーン
3年学級委員会	気合 ～明日へ突き進め～	予鈴登校キャンペーン
2年学級委員会	魅せる全力！中堅魂	「清」服キャンペーン
1年学級委員会	切磋琢磨でキラキラ笑顔	チャイム着席キャンペーン
整備委員会	作ろう！ 快適な学校	おいていってよいもの
保健委員会	手洗いうがいで元気100倍！ バイバイばい菌！	ハンカチ・ティッシュチェックを行います
給食委員会	給食で、みんなの笑顔をつくります！	リクエスト権をとるのは、どのクラスだ！？ 片付けきっちりできるのは、どのクラスだ！？
図書委員会	みんなが使いたくなるような 学校図書館へ	ハートタイムカード記入キャンペーン
放送委員会	初志貫徹	昼放送聞こうキャンペーン
体育委員会	体育委員 PRIDE ～最高の SMILE～	休み時間に外に遊びに行った人が多いクラスを表彰キャンペーン

3年生全員を対象に、校長と副校長が面接指導を実施しました。

11月中旬より、3年生全員を対象に校長面接指導を行っています。面接指導も地域の方にも入ってもらうなどいろいろな方法があります。しかし、関中学校では、校長と副校長が、3年生全員について面接指導を行っています。入学試験で面接試験がない高等学校もありますが、社会勉強の一つとして、3年生全員を対象に実施しています。一人15分間。礼儀作法、身だしなみ、話し方、姿勢、質問に対する内容等について指導しています。

3年生には、評価とコメントを渡しています。評価はA B C Dの4段階でつけていますが、全ての項目でオールAはなかなかありません。全体的に言えることは、声が小さい点が挙げられます。指摘した注意点を改善して、本当の面接試験では自分のよさを100%出し切って、志望校合格を勝ち取ってほしいと願っています。

インフルエンザに注意

これから益々寒く乾燥した天候となり、インフルエンザも本格的な流行期に入ります。年末年始の様々な行事で、人混み合うところに行くこともあると思います。うがい、手洗い、マスクの着用をしっかりと行って下さい。関中でもインフルエンザにかかってしまった生徒が出ています。また、感染性胃腸炎も流行り始めています。特に、3年生は来年早々にも入学試験があります。体調管理をしっかりと行って下さい。

無料通信アプリ（LINEラインなど）を介してのトラブルに注意して下さい。

スマートフォン（多機能携帯電話）などの無料通信アプリ（ラインなど）を介しての生徒間のトラブルが、社会全体でも問題になっています。

関中学校では、携帯電話やスマートフォンを学校に持ち込むことは「厳禁」です。

校外での使用により、行き違いや表現が不適切なために誤解が生じ、トラブルが発生してしまうことがあります。もちろん、悪意をもって相手を中傷誹謗する言葉を相手に送ることは、行ってはいけません。悪意をもって写真や動画などを発信することも、人権侵害になります。子どもだから許されることはありません。

何かあれば学校へ相談して下さい。また専門の相談機関もありますので、紹介します。

東京都青少年・治安対策本部青少年課「こたエール」(電話：03-3500-5181)

不審者出没 注意！ ～ すぐ110番通報をして下さい ～

これからますます、日没時間が早くなります。十分に注意して下さい。不審者に遭遇したときは、すぐに110番通報を！

不審者への対応

- (1) 不審者に遭遇した時は、大声を出したりするなどして、すぐに逃げる。そして、誰でもいいので大人に知らせ、救いを求めること。
- (2) 登下校では、できる限り集団で行動すること。できる限り、一人で登下校しない。
- (3) 歩いている時には、周囲の様子に十分に気を配ること。危険回避の力をつけること。「危ない！」と思ったら、その場から離れること。
- (4) マンション等のエレベータに乗る場合は、ボタンの近くに立ち、壁に背を向け、見知らぬ人が乗ってきたら降りること。
- (5) 何かあったときは、近隣の商店や家に知らせる。逃げ込む。そして、すぐに「110番通報」をすること。
- (6) 車に乗っている不審者に会った時には、車のナンバーを覚えておいて下さい。

関中学校 電話：03-3929-0048

成績相談について（12月25日 終業式・26日 冬休み一日目）

関中では、2学期通知表を12月25日の2学期終業式後に、各学級担任から配付します。その後に、成績相談の時間を設けています。成績相談は、12月26日（冬休み1日目）も実施します。また、「評価・評定のつけ方、通知表の見方」のプリントも配布します。ご活用下さい。

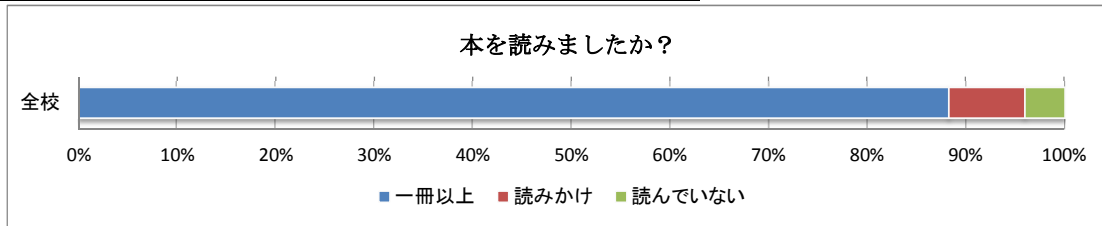
平成29年度 関中学校 読書についての生徒アンケート

平成29年11月上旬実施

質問1

4月から10月までの間に、本を読みましたか？(マンガ、雑誌、写真集等は除く)

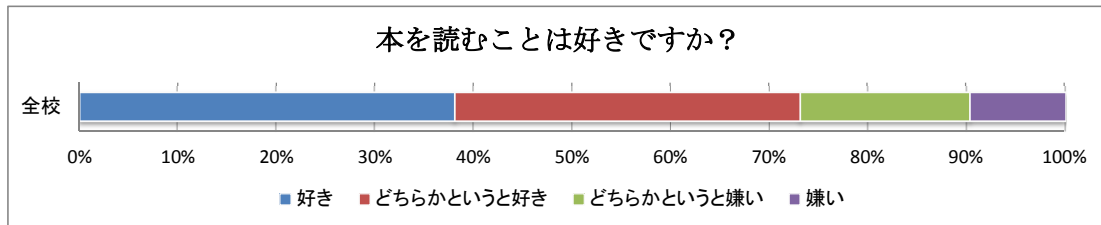
	一冊以上	読みかけ	読んでいない	(人)
全校	436	38	20	



質問2

本を読むことは好きですか？

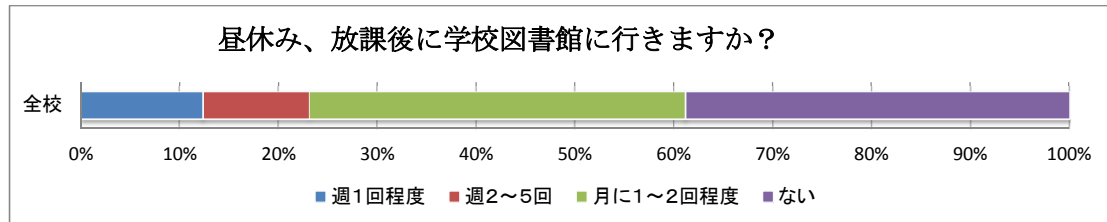
	好き	どちらかという好き	どちらかという嫌い	嫌い	(人)
全校	188	173	85	48	



質問3

昼休みや放課後、学校図書館に行くことがありますか？

	週1回程度	週2～5回	月に1～2回程度	ない	(人)
全校	61	53	188	192	



★「本を読むことが好きですか？」という設問の年度ごとの変化について(比較)

	好き	どちらかという好き	どちらかという嫌い	嫌い	(人)
今年度	188	173	85	48	494人
平成28年度	222	175	81	46	524人
平成27年度	216	176	73	41	506人
平成26年度	206	199	80	33	518人
平成25年度	154	217	87	49	507人

	ハートタイム冊数	学校図書館貸出冊数
平成28年度	4019	2542
平成27年度	3426	2503
平成26年度	3945	2385